

伊達地方消防組合消防指令システム浸水対策工事及び消防救急デジタル無線機能強化の総合整備に係る公募型プロポーザル審査結果報告書

伊達地方消防組合消防指令システム浸水対策工事及び消防救急デジタル無線機能強化の総合整備に係る公募型プロポーザルについて、提案内容の審査を行った結果、受託候補者を次のとおり決定しましたので公表します。

1 最優秀者（受託候補者）

○株式会社富士通ゼネラル

2 審査結果

応募者名	合計得点（3,000点満点）	備考
株式会社富士通ゼネラル	2,524点	最優秀者
A者		辞退
B者		辞退

3 審査委員会委員

役職	氏名	所属・職名等
委員長	三浦 恒男	消防長
委員	丸山 博徳	消防署長
委員	大波 哲也	伊達市防災危機管理課長
委員	菅野 泰央	桑折町生活環境課長
委員	羽根 洋一	国見町住民防災課長
委員	佐々木 弘幸	川俣町財政課長

4 審査の講評

本審査委員会では、現在運用している高機能消防救急デジタル無線指令システムの基本構想に加え、当消防組合の喫緊の課題である指令システムの浸水対策と現消防救急デジタル無線の不感地帯解消のための機能強化を前提として、これらを踏まえた提案内容や採点基準を作成し、技術提案書による書類審査とプレゼンテーション及びヒアリングによる審査により最優秀者を選定することを決定した。

主に消防指令システムの導入実績及び設計の基本構想、システムの性能評価、消防救急デジタル無線の仕様及び特徴、浸水対策工事に係る機械室改修提案、システム維持管理のための保守体制と費用及び総合整備の構築費用を審査し、消防行政サービスの向上を図れるシステムを目指して採点を行った。

技術提案者が1者であったため、既設システムとの比較になるが、指令システムにつ

いては障害発生時の安定性、指令台及び署所端末増設に伴う拡張性、119受付から指令送出までの事案処理に対する操作性、各主要装置の冗長性など、既設システム同等以上と判断でき、装置異常発生時のシステム安定性及び指令員の事案処理の迅速性については高く評価できる。

消防救急デジタル無線については、自社生産による最新機器が提案され、受信感度の向上、陸上移動無線局の送信出力向上など、既設無線の不感地帯解消が期待でき消防救急デジタル無線の機能強化が図られるとともに、更に無線バックアップとしての多重無線システムについては無線アクセス装置が提案され、バックアップ回線の代替として安定した通信と構築費用の低廉化が図られており評価できる。

機械室の浸水対策工事については、既設システムを稼働させながら、フリーアクセスフロアの嵩上げ工事及びフロア床下配線から架空配線に変更するなど、工事期間中及び浸水想定区域での安定した指令業務遂行のため、適切な提案がされている。

構築費用等については、予定している上限額を下回っているほか、保守費用については修繕部品発生時に定額の保守対応をするなど、年間保守費用に修繕費用を含まずシステム維持管理費用の低廉化が図られており、構築費及び保守費用についても評価が出来る。

5 総評

厳正かつ公正な審査の結果、各審査委員の評価も高く、受託候補者が決定されたものであるが、技術提案に関し、最新機器を開発し導入するなど高い技術力により本事業の要求水準を上回るものであるとともに、当消防組合の課題である浸水対策とデジタル無線機能強化に対し、創意工夫並びに安定した指令業務継続内容が盛り込まれた精度の高い提案であり、実績に対する信頼性、システム運用に関する安定性、将来の拡張性についても期待に応えており、本事業の目的を十分達成できる提案内容であった。